



発行責任者 松波 恒彦  
 松波動物病院グループ  
 名古屋市天白区中砂町 515  
 2009/06/15 第 35 号

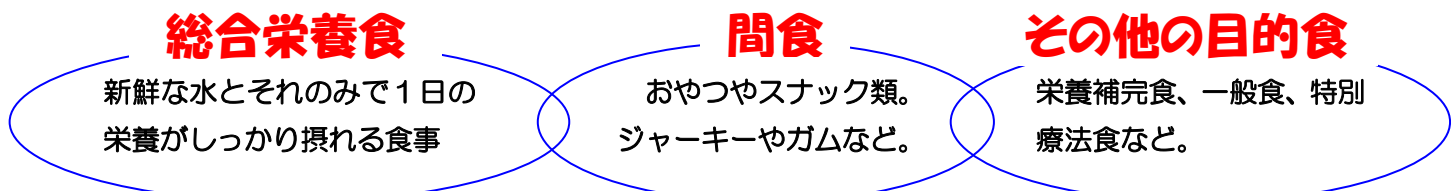
# 総合栄養食って、なに??

担当：今村沙弥子（本院 AHT）

みなさんは普段ワンちゃんやネコちゃんにどのようなお食事をあたえていますか？  
 病院の療法食や、ホームセンター・スーパーなどで売られているお食事など様々だと思います。しかし実際どんな食事をどれだけ与えればよいか分からない方もいらっしゃるのではないのでしょうか？**今回はペットフードについてお話したいと思います。**



## 一言でペットフードといっても種類がいくつもあります。



大まかに分けるとこの3種類ですが、ではどの食事を与えるのがよいでしょうか。一般的にはワンちゃんネコちゃん健康な体を保つ食事としては、新鮮な水と総合栄養食だけで十分と言われています。それは1日に必要な栄養量をきちんと考えられて作られているからです。人間、犬、猫それぞれにおいて必要な栄養素は同じですが、必要量は

それぞれ異なりますのでワンちゃんならワンちゃん、ネコちゃんならネコちゃんの必要な栄養量を満たした食事を選んであげる必要があります。一方で間食や栄養補完食、一般食などは栄養バランスが整っていないので総合栄養食やサプリメントと一緒に与える必要があります。

### 病院からのおすすめはこれ

<b>ベッツプランシリーズ</b>		<b>サイエンスダイエットPROシリーズ</b>	
			
(犬用)	(猫用)	(犬用)	(猫用)
1kg ¥1,470	2kg ¥3,392	1kg ¥1,638	1kg ¥1,806
3kg ¥3,602 (税込)	4kg ¥5,282 (税込)	3kg ¥3,696 (税込)	3kg ¥4,232 (税込)

※メールケア・フィーメールケアのみ



**ペットフードを与える際に守って欲しいこと**

- ①開封後1ヶ月で使いきれのサイズを選ぶ
- ②給与量を守る（特にパピーの子は成長期なので給与量も成長とともに増えます）
- ③ワンちゃんネコちゃんに与えたフードは置きっぱなしにしない。

**松波動物病院**  
 名古屋市天白区中砂町515  
 052-833-1111  
<http://www.matsunami.co.jp/>

**上社ペットクリニック**  
 名古屋市名東区上社1丁目 506  
 052-776-1010  
<http://www.matsunami.co.jp/kpc/>

**ベッツアニマルクリニック瀬戸**  
 瀬戸市東横山町 92 ハロ-SC1F  
 0561-89-7400  
<http://www.matsunami.co.jp/vacs/>

# ライフステージに合わせた フードの切り替え方



担当：長江幸恵（ベッパニマルクリニック瀬戸AHT）

ペットショップや動物病院では、たくさんのメーカーからいろいろな種類のペットフードが並んでいます。その中からうちの子にあったフードを選ぶのは、とても苦労しますよね。ペットが喜んで食べるペットフードを選ぶのはもちろんですが、年齢によってペット達の体の状況が変化していきます。その子、その子に合ったペットフードを選び、適切な食事管理をしてあげましょう！！

## 選び方



- 1 まずは第一に、嗜好性が合っていることが重要です。試供品などで、いろいろなメーカーの物を試してみるのもいいでしょう。
- 2 次に、ライフステージに合わせた栄養バランスのとれたフードを選ぶ必要があります。人間でも育ち盛りの子どもとお年寄りでは、毎日必要とするエネルギーや栄養素の量も当然違ってくるように、ワンちゃん・ネコちゃんも同様です。

## うちの子たちは どこのライフステージ??



### 幼犬期・幼猫期

パピー・キトン 離乳期～12ヶ月齢まで

丈夫な体の土台を作る最も大事な時期で、この時期の食事がその後の健康状態を左右すると言っても過言ではありません。骨格や筋肉、内臓などの体の組織が急速に発達するため、成犬・成猫以上にタンパク質や脂肪、ミネラルなどが必要になります。成長期のためエネルギー源として摂取すべきカロリーも成犬・成猫の数倍です。そのため、子犬や子猫に必要な成分やカロリーが十分入っている「子犬用」「子猫用」「キトン」「パピー」などと記載されたフードを与えるようにしましょう。



### 成犬期・成猫期

アダルト 1歳～6歳まで（大型犬：2歳～6歳）

一生の半分はこの時期に含まれるため、日々の食生活が健康に大きく関わってきます。そこで、バランスのとれた良質の食事を取ることがとても重要になります。生後1年以上経って成長が止まっても子犬や子猫と同じ食事を与えていると、カロリーオーバーとなり肥満になってしまうため、1歳になる頃には維持期に与える成犬・成猫用のフードに切り替えましょう。また、この時期は特に肥満になりやすいため注意が必要です。



### 高齢期

シニア 7歳以上

犬も猫も高齢になると運動量が減り、老化とともに身体機能が衰えてきます。そのため基礎代謝が低下するのに伴い、必要なエネルギー量も20%ほど低下します。しかし、食欲はあまり変わらないため維持期と同じ量を与えているとカロリーオーバーになってしまい、内臓や関節などに負担がかかってしまいます。高齢期を快適に過ごすためにも、健康状態に合わせて食事内容を見直すことが肝心です。



# 避妊・去勢後の食事



担当：石野純代（上社ペットクリニック AHT）

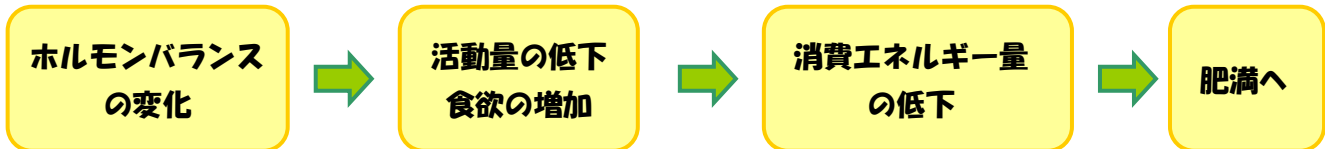


## ～ 避妊・去勢手術をすると、なぜ太りやすくなるの？ ～

避妊・去勢後は女性ホルモン・男性ホルモンの影響を受けなくなります。性的ストレスが無くなり、活動量が低下するため、エネルギー消費量が低下し、筋肉が落ちて脂肪がつきやすくなります。つまり…エネルギー消費量が少なくなったのに、今までと同じ食事内容ではカロリーオーバー！！

「肥満は万病のもと」は人も動物も同じです。

避妊・去勢手術後は適正体重を維持できるよう、食事量・内容を見直す必要があります。



## おすすめフード



### ネコちゃん

#### ロイヤルカナン

フィーメールケア（避妊後から7歳までの雌ネコちゃん）  
メールケア（去勢後から7歳までの雄ネコちゃん）

- 適正体重維持  
低カロリーで筋肉量の維持に配慮した高タンパクな設計となっています。
- 尿石症に配慮  
尿pHを弱酸性に保ち、尿量、尿比重を正常に維持できるよう、各ミネラル成分やイオンバランスが調整されています。
- 毛玉ケア  
食物繊維を増量し、毛玉の健康的な排出に考慮されています。
- 口腔衛生ケア  
歯垢が付着しにくい粒の形状となっています。また、歯垢が歯石へと変化する際に使われるカルシウムを捕らえるポリリン酸ナトリウムが配合されています。
- 低炭水化物（メールケアのみ）  
食後の血糖に配慮し、また栄養学的に膵臓への負担を低減するために低炭水化物な設計となっています。



フィーメールケア



メールケア

### ワンちゃん

#### ロイヤルカナン ニュータードケア （避妊・去勢後のワンちゃん）

- 適正体重維持  
避妊手術をすることでエストロゲン（女性ホルモン）が減少し、肥満のリスクが高くなります。低カロリーでエストロゲンに似た構造を持つ大豆イソフラボンが配合されています。
- 尿石症に配慮  
尿pHを弱酸性に保ち、尿量、尿比重を正常に維持できるよう、各ミネラル成分やイオンバランスが調整されています。
- 口腔衛生ケア  
歯垢が付着しにくい粒の形状となっています。また、歯垢が歯石へと変化する際に使われるカルシウムを捕らえるポリリン酸ナトリウムが配合されています。
- 消化性に配慮  
便の量や好ましくない腸内発酵を考慮し、消化性に優れたタンパク質が使用されています。



ニュータードケア



## ブログ、はじめました！

上社ペットクリニック・福本院長がブログをはじめました！患者様のワンちゃん、ネコちゃん

のことや、福本院長の趣味など、楽しい日記が綴られています♪是非遊びにきてくださいね！

<http://ameblo.jp/mfkpc>



# 高齢犬猫の食事管理

人間同様ペットも高齢化が進み、現在シニア期のワンちゃんネコちゃんは全体の中で高い割合を占めています。こういった高齢化が進む背景に大きな影響を与えているのが毎日食べる食事と言っても過言ではありません。

今回はシニア食による食事管理がなぜ必要なのかを考えてみたいと思います。



## シニア食はなにが違うのか



### その1 必要エネルギーや栄養バランスが変わる

高齢になると一般的には運動量や基礎代謝量が低下し必要なエネルギー量も落ちます。また筋肉が痩せてきたり、内臓の機能が衰えてくるので必要な栄養素（タンパク質、炭水化物、脂肪、ビタミン、ミネラル）のバランスが変化してきます。



### その2 よりおいしく食べやすく

食事への興味が落ちたり嗅覚が低下したりで食事量自体が減る場合も有りますし、歯が弱ってきて食べたくてもそんなには食べられない場合もあります。ですので食べやすくして香りがよく嗜好性を高くする必要があります。



### その3 消化吸収を助ける

衰えてきた胃腸を労るように消化しやすい蛋白が必要になります。またお腹の調子を整える特別な繊維質が多く配合されています。



### その4 腎臓や心臓への負担を減らす

高齢のワンちゃんネコちゃんに多い病気に腎疾患、心疾患のリスクを減らすためリンやナトリウムが少なめにしています。



### その5 関節を守る

関節の健康を保つためグルコサミンやコンドロイチン硫酸が補給されていたり、関節の炎症をとるようなオメガ3系脂肪酸が補給されています。



### その6 美しさを保つ

被毛や皮膚の状態をよく保つ様にビタミンや必須脂肪酸を調節してあります。またアンチエイジングとして抗酸化成分が強化されています。



以上のような違いがあります。すべてのシニア食が同じように作られている訳では無いのですが、当病院で奨めているシニア用フードは上の様な目的をもっています。また他にもサプリメントで皮膚や関節を強化したり痴呆を改善させるものもあります。

今回は正常なワンちゃんネコちゃんのシニアフードの話でしたが、高齢のワンちゃんネコちゃんでは病気のため療法食を食べないといけないというケースもあります。7歳以上になったら一般検診や血液検査を定期的に行いフードを選んだ方がいいかと思います。

